新病院開院までの救急医療体制について

－市立2病院での担当曜日制試行の状況から－

「病院内部検討会（救急部会）の検討結果（報告）」より引用

新体制（統合新病院）までの救急受入れ体制

現状は・・・

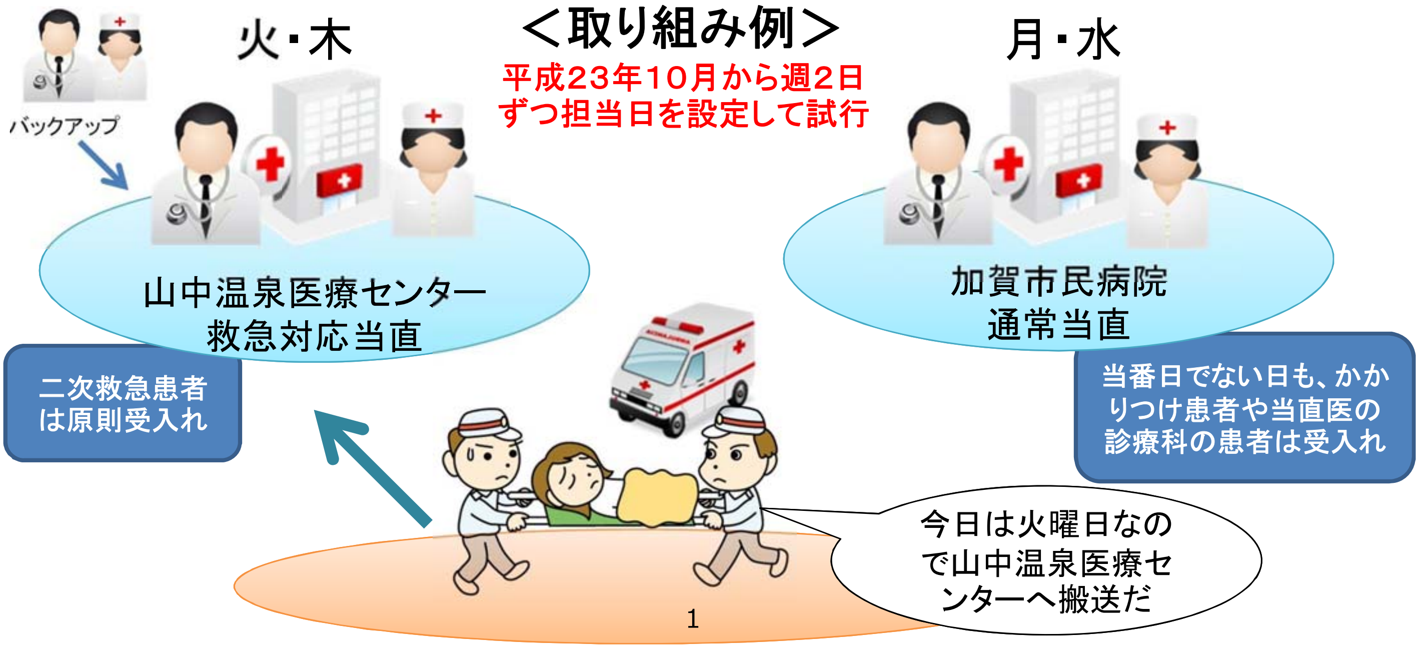
- ●当直の担当医によって、受入れできる日と受入れできない日
- ●一方を外科系、一方を内科系での当直割当が、実際には困難
- ●受入れできる医師が当直のときにはコールが集中する。

今後は・・・

- ■　2病院で基本的に受入れを行う担当曜日を設定
- ■　担当曜日は原則受入れ、病院全体で当直医をバックアップ

<取り組み例>

平成23年10月から週2日
ずつ担当日を設定して試行

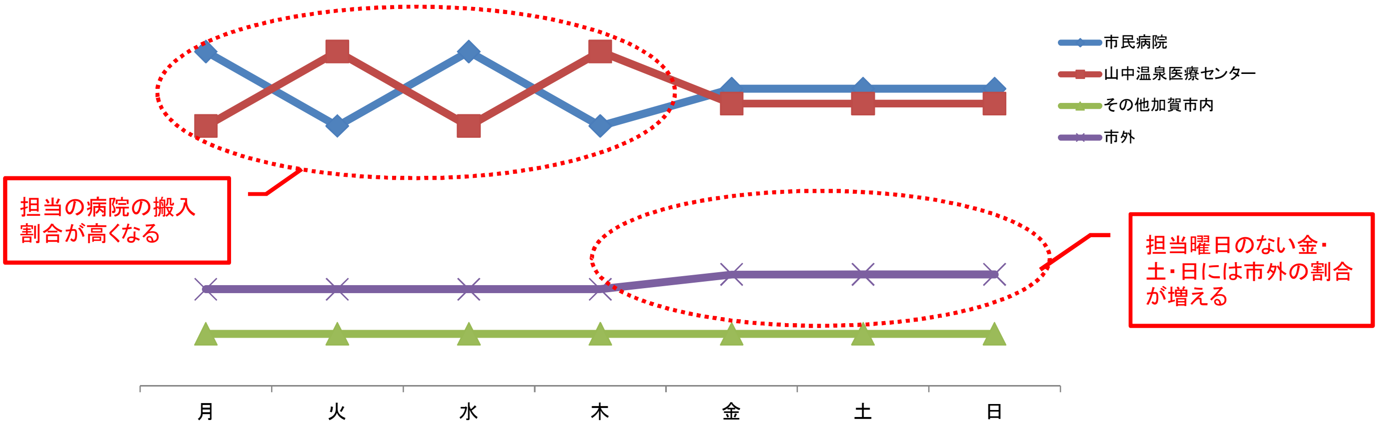


担当曜日制試行前後における救急搬送先の比較

【データ】
　加賀市消防署の救急搬送データをもとに集計
　集計期間：平成23年10月～平成24年9月（比較対象は前の1年間）

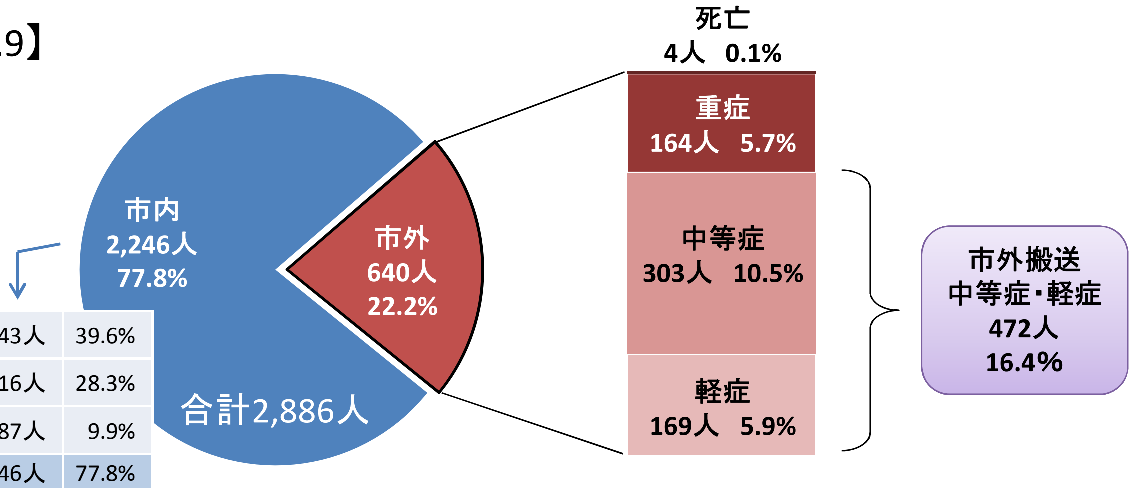
【集計上の設定】
　〇時間区分
　　・日中（時間内）＝8:30～17:00　　・夜間（時間外）＝17:00～翌8:30
　〇曜日
　　・祝祭日及び年末・年始は区分せず、それぞれの曜日で集計

【曜日担当が機能した場合に想定される搬送割合（グラフ化したときのイメージ）】



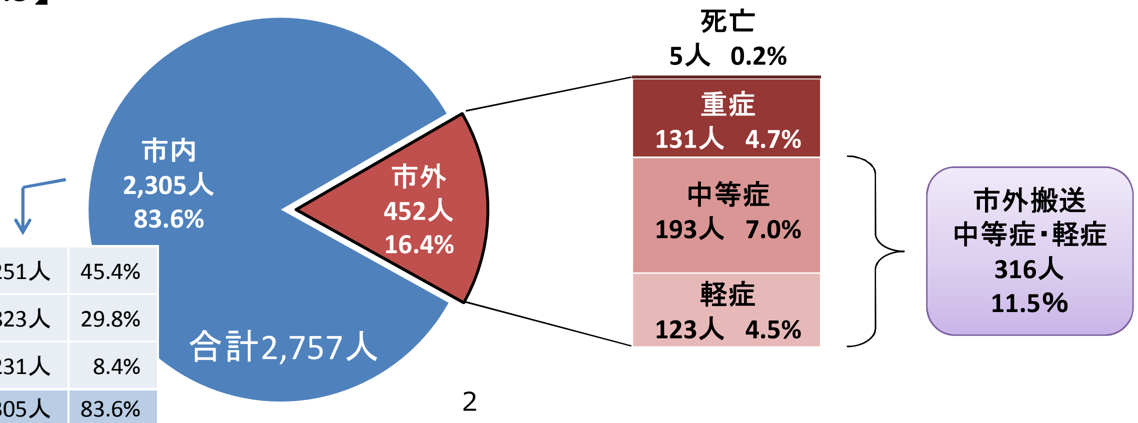
【1年間の搬送状況（直近2か年の比較）】

【H22.10～H23.9】



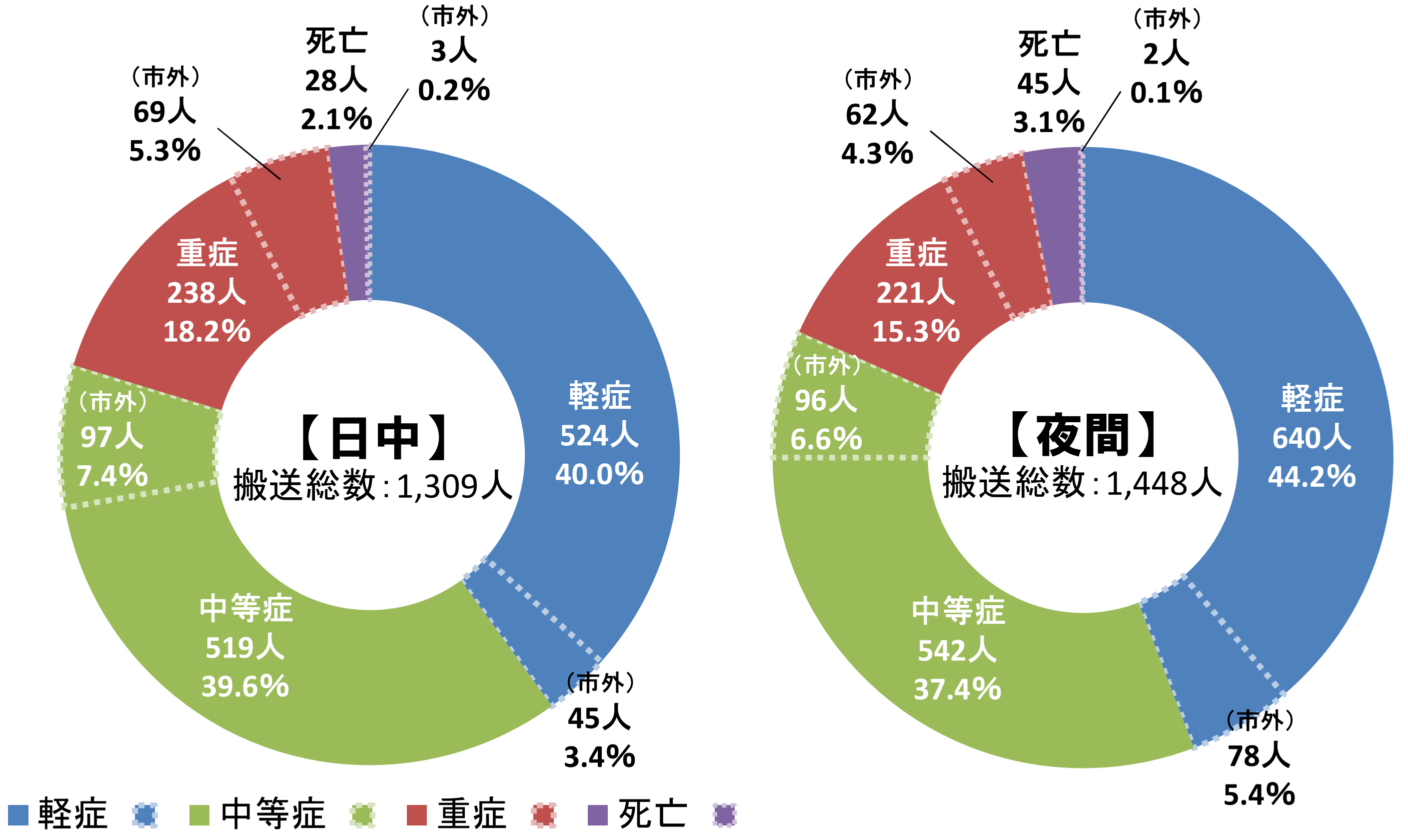
加賀市民病院	1,143人	39.6%
山中温泉医療センター	816人	28.3%
その他市内	287人	9.9%
市内計	2,246人	77.8%

【H23.10～H24.9】



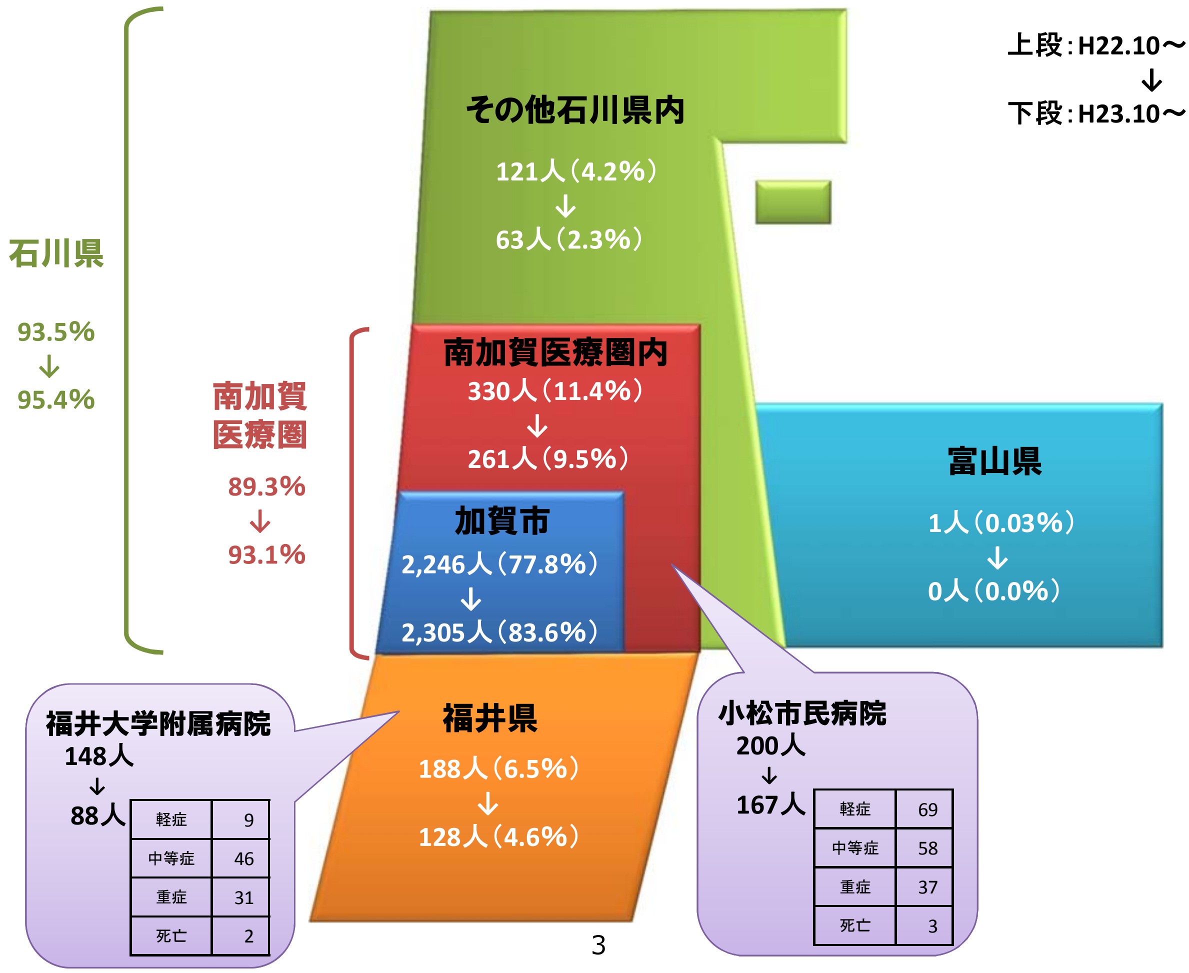
加賀市民病院	1,251人	45.4%
山中温泉医療センター	823人	29.8%
その他市内	231人	8.4%
市内計	2,305人	83.6%

【傷病程度別の救急搬送割合（H23.10～H24.9）】



※（市外）は、各傷病程度のうち、市外搬送された数

【地域別搬送先割合】

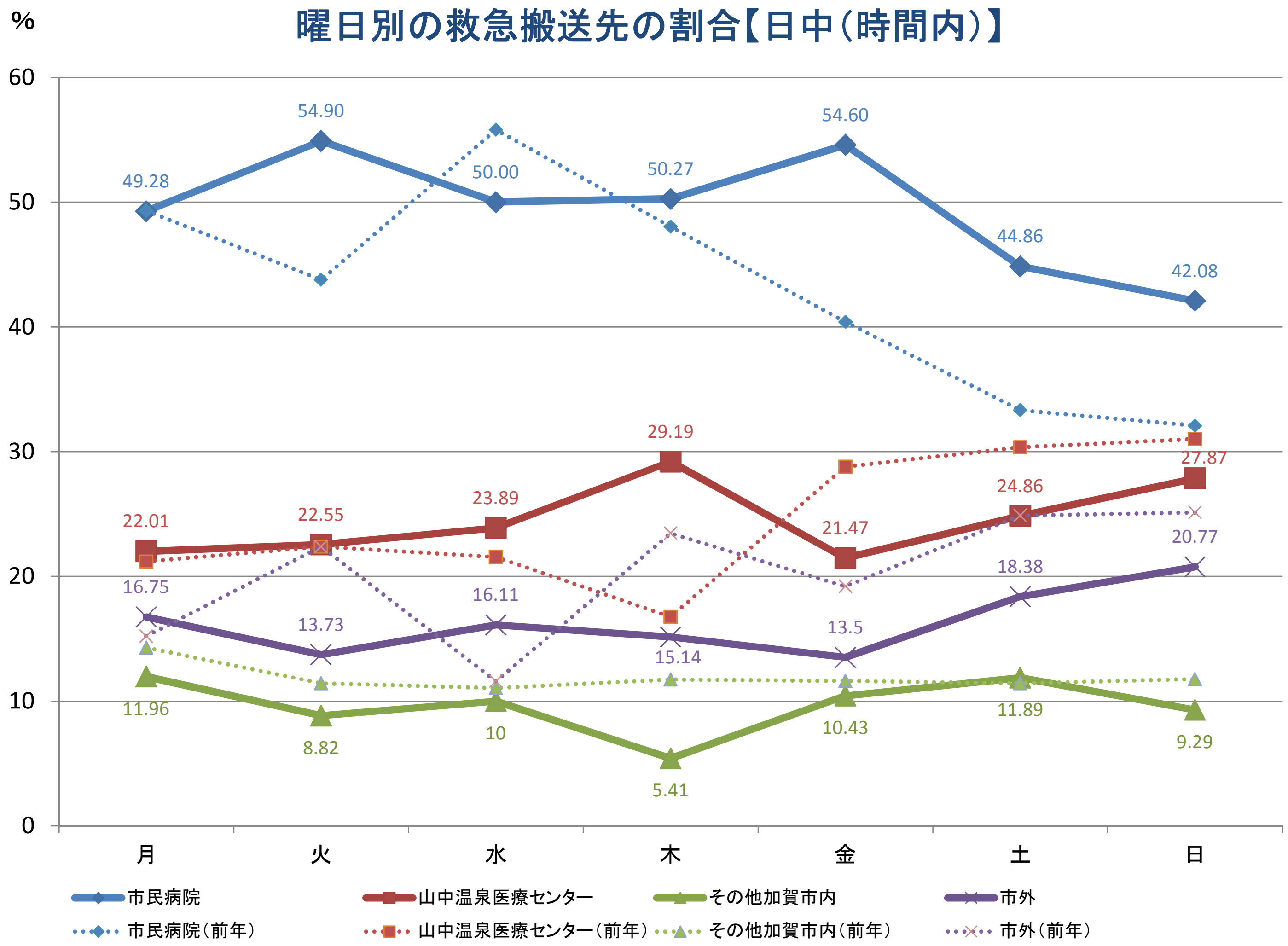


福井大学附属病院

軽症	9
中等症	46
重症	31
死亡	2

小松市民病院

軽症	69
中等症	58
重症	37
死亡	3



〔参考:祝祭日・年末年始日数〕

	月	火	水	木	金	
【H22.10～H23.9】	6	2	3	3	4	⇒月曜日及び金曜日が若干多い
【H23.10～H24.9】	6	2	1	3	3	

【概況】

- ➢市外搬送の割合は全体として大幅に減少している。
- ➢土曜日・日曜日の市外搬送の割合が比較的高い。

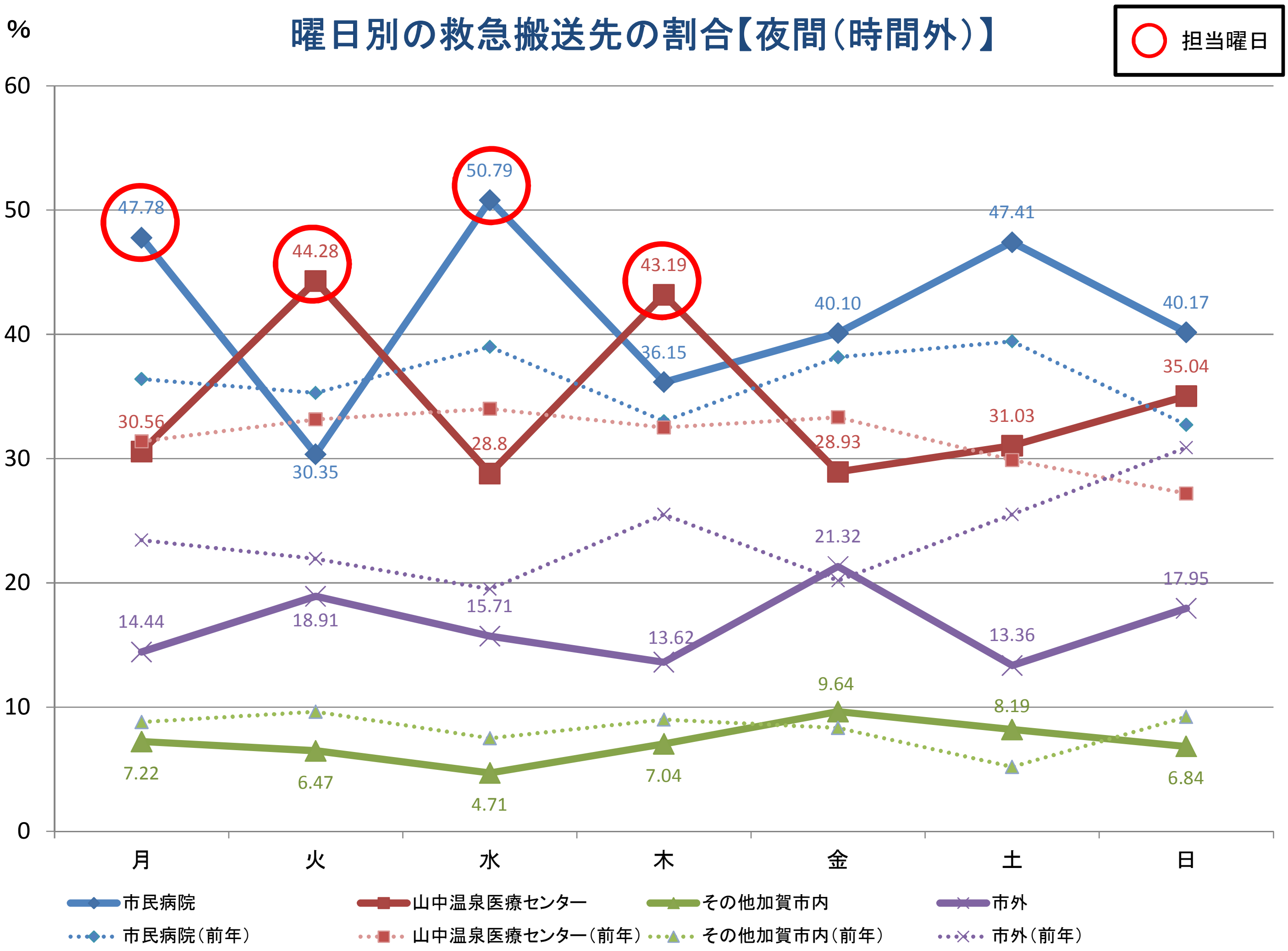
日中の市外搬送の割合(年間平均):16.35%

⇒ これを超える曜日

月曜日:16.75%

土曜日:18.38%

日曜日:20.77%



【概況】

- 2病院とも、<u>担当曜日の搬送割合が高い。</u>
  <u>曜日により分担されていることがハッキリと現れている</u>。
  (前年には見られない傾向)

- 市外搬送の割合は<u>全体として大幅に減少している</u>。

- ただし、<u>火曜日・金曜日・日曜日の市外搬送の割合が比較的高い</u>。

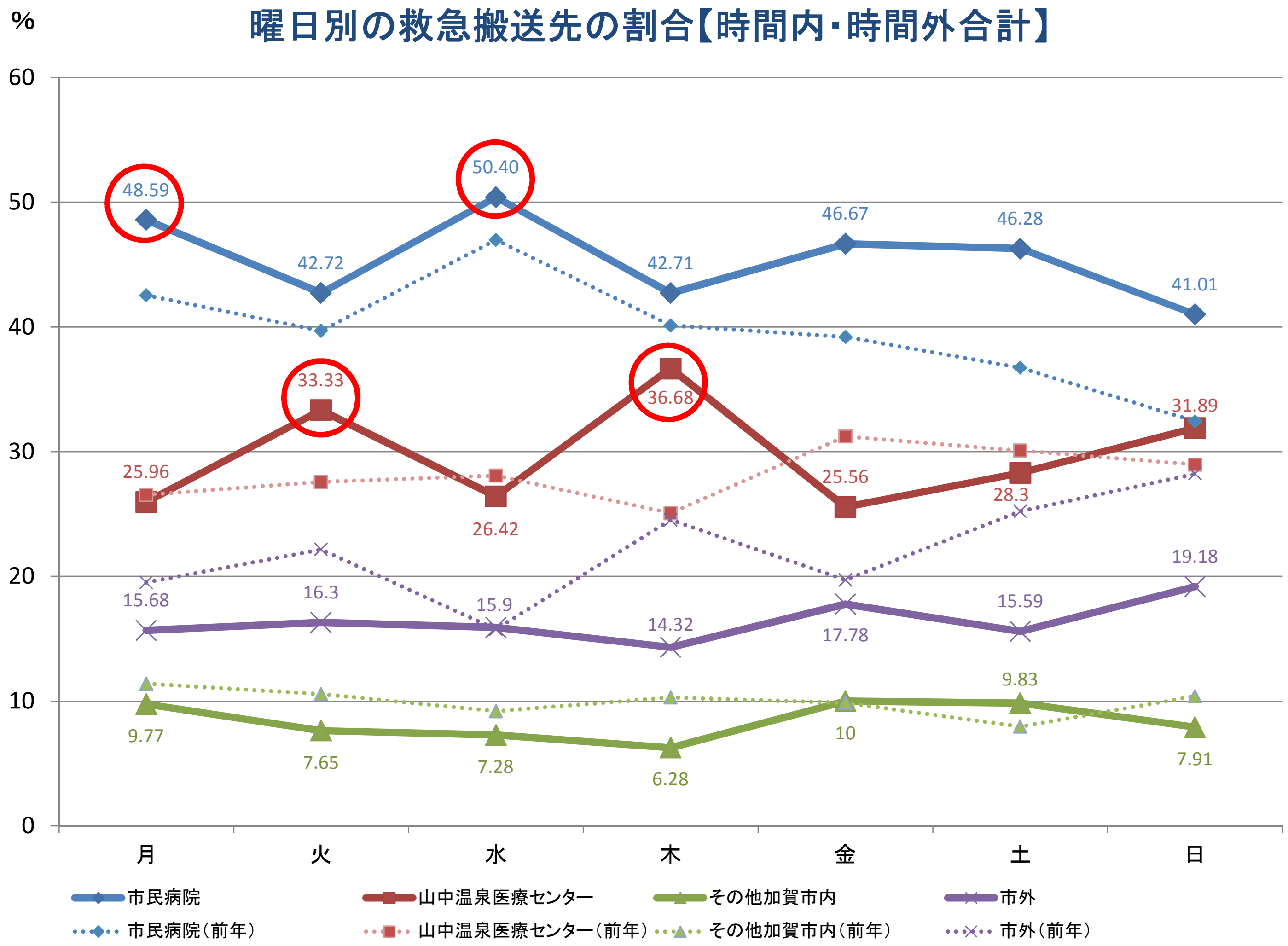
夜間の市外搬送の割合(年間平均):16.44%

⇒　これを超える曜日

火曜日:18.91%

金曜日:21.32%

日曜日:17.95%



【概況】

➢2病院への搬送割合が増加した。
（1年間を通じて約7ポイント増）

➢その結果、市外搬送数は大きく減少した。

（参考）

H21.1～12　　：　32.3%

⇩　　約3年間で半減している

H23.10～H24.9　：　16.4%

検討課題

統合新病院開院までの間の救急受入体制として

① さらに市内での受入を強化できないか。
（特に、市外搬送の割合が高い曜日、時間帯）

② 担当を決めていない曜日（金・土・日）について、
今後の受入体制をどうするか。

③ その他、現在の担当曜日制の問題点、改善点